

マンパワー不足が深刻

谷合氏 岩手・大槌町長と懇談

公明党の谷合正明参院議員は27日、東日本大震災で人口の約1割が犠牲になった岩手県大槌町を訪れ、碓川豊町長から本格的な復興へ向けた課題を聞いた。公明党の釜石市議が同席した。

前町長をはじめ約40人の職員が亡くなったことと触れ、全国から43人の応援職員を受け入れている現状を説明。今後本格化する用地交渉などに「10人配置しなくても1、2人しか配置できない」と人手不足の窮状を訴え

た。

このほか、沿岸地域で進める防災集団移転事業などについて「同じ地域の被災者でも受けられる支援内容に差がある」と述べ、制度の改善を求めた。これに先立ち谷合氏は、国際医療ボランティア団体「AMDA」が同町で運営している「健康サポートセンター」を視察した。



碓川町長（左から2人目）と懇談する谷合氏（同3人目）ら
11月27日 岩手・大槌町